

感染症だより

能登中部保健福祉センター
令和8年5月18日 発行

ハンタウイルス感染症が発生

南大西洋上を航行中のオランダ船籍のクルーズ船において、ハンタウイルス肺症候群の症例が確認されました
5月12日時点で、9名に感染が確認され、2名に感染の疑いがあると報告されています

ハンタウイルスって何？

ハンタウイルス感染症のうちハンタウイルス肺症候群は、オルソハンタウイルス属のウイルスを病原体とする感染症であり、呼吸不全を呈し死亡することがある感染症です
日本では、**四類感染症**に分類されています
南北アメリカ大陸に分布します

主な症状・特徴

- 潜伏期間：1週間～5週間程度(通常は約2週間)
- 症状：**発熱・咳・筋肉痛**
嘔吐や下痢が見られることも
- 急速に症状が進行し、呼吸不全を呈し死亡することがあります(死亡率は約40～50%)
- 無症状の方から感染が広まった新型コロナウイルスとは異なります**

げっ歯類(ネズミ等)の糞や尿を含むほこりを吸い込むことや汚染された食品や飲料水の摂取により感染します

- ヒトからヒトへの感染はハンタウイルスの一部のウイルス種を除き報告されておらず、適切な対応(感染者と接触者の適切な管理)により伝播は抑制できます
→仮に感染した乗客が日本に入国した場合であっても、**国内でヒト-ヒト感染により感染拡大する可能性は低い**と考えられています
- ハンタウイルス肺症候群についてはこれまで**日本国内での患者発生の報告はありません**

予防法

- 流行地域ではネズミ等のげっ歯類との接触を避けましょう
- 糞や尿で汚染されたほこりを吸わないよう環境を清潔に保ちましょう
- 食品はふたなどをして適切に保管しましょう
- 国内で承認されたワクチンはありません

ハンタウイルスの詳細についてはこちら
(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hantavirushps.html>

日本での流行の可能性について

- ハンタウイルスの種類ごとにウイルスを持つことができる特定のげっ歯類が決まっているため、**ウイルスをもつことができるげっ歯類が生息していない地域にウイルスが入り込んでも感染は成立しません**
- 国外で知られているウイルスをもつげっ歯類は**日本国内には生息していません**



今回のウイルスの特性は検索中ですが今回の船舶は南米から出航していることから、**日本国内で今回の原因となったハンタウイルスに感染する可能性は極めて低い**と考えられます